



なかしん

中小企業景況レポート

No.28 中栄信用金庫 地域支援部

平成30年7月～9月実績と平成30年10月～12月見込み

◆ 調査概要

調査時期 平成30年9月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
 調査企業数 348社
 回答企業数 328社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	96	93	96.8
卸売業	30	28	93.3
小売・飲食業	62	56	90.3
サービス業	57	52	91.2
建設業	66	63	95.4
不動産業	37	36	97.2
合計	348	328	94.2

◆ 7月～9月期の概況

～景況感は3期ぶりにプラス域、人手不足感は過去最も強まる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は6.8を示し、前回調査（平成30年4～6月期）に比べ10.7ポイントの改善となりました。

これは製造業や建設業における好調な受注状況により、収益性を踏まえた選別受注の動きがみられたほか、小売・飲食業やサービス業では、料金・販売価格の見直しに加え、一部では個人消費の持ち直しの動きもみられたことから、景況感は平成29年12月期の7.0に次いで、2番目に高い値となっております。こうした中、人手過不足D.I.は5.1ポイント不足感が強まり▲39.0と、調査開始以来、最も不足感が強まっており、一部企業においては人材確保を目的に、労働環境の改善を図る動きや生産性向上に向け、機械設備の新・増設を行う動きもみられます。

また特別調査によると、約4割の企業が社長の年齢は60代以上と回答する一方で、具体的な引退年齢の目途がある企業は半数に満たないことから、円滑な事業引き継ぎに向けた準備を課題とする企業も見受けられます。

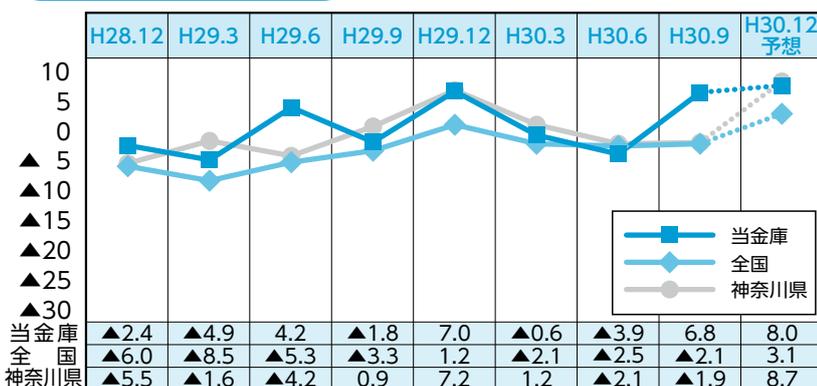
項目別にみると、売上実績D.I.は5.8ポイント悪化の▲0.9、収益実績D.I.は1.5ポイント小幅悪化の▲3.9となっております。また、仕入価格D.I.は2.9ポイント上昇の30.9、資金繰りD.I.は1.8ポイント小幅悪化の▲10.9となっております。また業種別の景況感は、小売・飲食業が26.1ポイント改善の▲10.8、建設業が17.2ポイント改善の25.4、サービス業が11.2ポイント改善の▲9.6、製造業が8.8ポイント改善の29.0、不動産業が5.1ポイント悪化の5.7、卸売業が10.8ポイント悪化の▲42.9となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断D.I.はほぼ横這いの▲2.1、神奈川県内についても、ほぼ横這いの▲1.9となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆ 10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は、1.2ポイント小幅改善の8.0、売上額D.I.は10.3ポイント改善の9.4、収益D.I.は10.0ポイント改善の6.1の予想となっております。

業況判断D.I.値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調 悪い

製造業

●概況

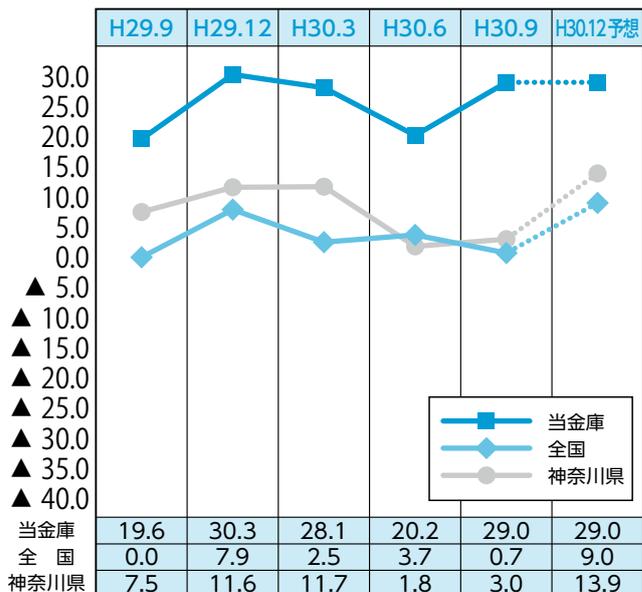
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.8 ポイント改善の 29.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. はほぼ横這いの 12.9、収益 D.I. は 1.0 ポイント小幅悪化の 1.1 となっております。

原材料価格 D.I. が 3 期連続上昇していることに加え、人手不足に伴う人件費の増加など下押し圧力が存在する中、輸送用機械や金属部品関連の需要増加により、受注が好調な企業が見受けられることから、景況感は平成 29 年 12 月期の 30.3 に次いで 2 番目に高い値となっております。またこれまで設備投資に慎重な企業が多くみられたものの、企業基盤の安定に加え、補助金活用等を契機とし、約 2 割の企業が機械設備の新・増設や老朽設備の更新を実施しております。

なお、全国は 3.0 ポイント悪化の 0.7 となっており、神奈川県は 1.2 ポイント小幅改善の 3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、横這いの 29.0 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	38.9	35.9	25.2		13.7
当期実績	34.4	44.1	21.5		12.9
来期予想	33.3	51.7	15.0		18.3
前年同期比	45.1	29.1	25.8		19.3

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+ 8.4	86.4	5.2	3.2
当期実績	+ 8.6	87.1	4.3	4.3
来期予想	+ 9.6	89.4	1.0	8.6

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+ 8.4	89.5	2.1	6.3
当期実績	+ 7.5	89.3	3.2	4.3
来期予想	+ 6.4	90.4	3.2	3.2

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	- 1.0	56.9	42.1	▲41.1
当期実績	- 1.0	47.4	51.6	▲50.6
来期予想	- 48.4	51.6		▲51.6

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	27.3	47.5	25.2		2.1
当期実績	27.9	45.3	26.8		1.1
来期予想	27.9	47.4	24.7		3.2
前年同期比	37.6	35.6	26.8		10.8

原材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	36.8	63.2		36.8
当期実績	40.8	59.2		40.8
来期予想	31.1	67.9	1.0	30.1

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	16.8	66.4	16.8	0.0
当期実績	18.2	65.7	16.1	2.1
来期予想	21.5	59.2	19.3	2.2

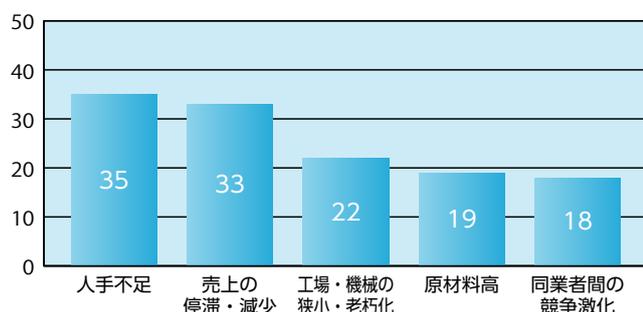
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	+ 5.4	68.6	26.0	▲20.6
当期実績	- 2.1	76.0	21.9	▲19.8
来期予想	- 2.2	73.1	24.7	▲22.5

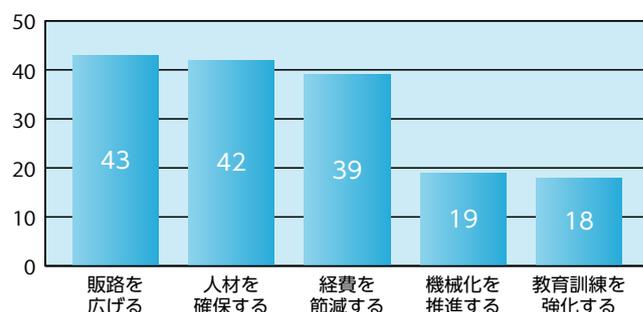
当期実績…30年 7～ 9 月期
来期予想…30年 10～ 12 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

●概況

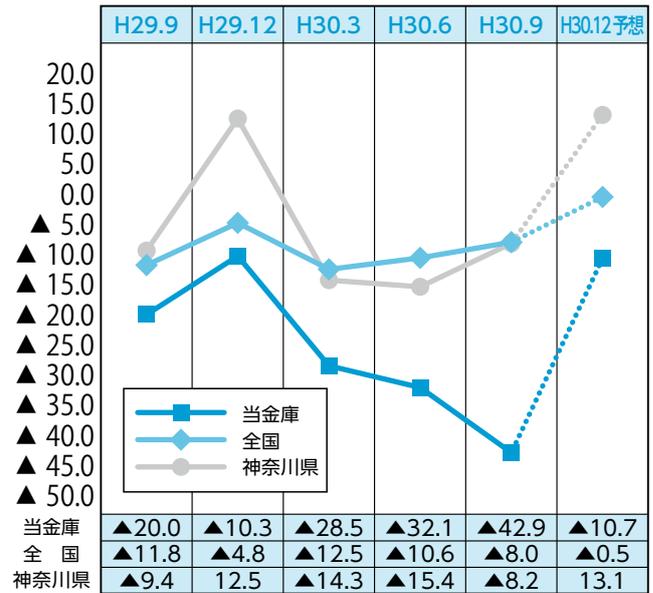
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 10.8 ポイント悪化の▲42.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 25.0 ポイント悪化の▲32.2、収益 D.I. は 35.8 ポイント悪化の▲39.3 となっております。

建材卸や食料品卸を中心に、天候不順や配送車両の不足などにより販売が伸び悩んだほか、燃料費や人件費負担の増加がみられたことから、約半数の企業が、前回調査に比べ売上・収益が悪化と回答し、景況感は 6 業種の中で最も低い値となっております。また一部企業においては、今後の施策として、配送距離に応じた料金体系の見直しを行う動きや新規取引先の獲得に向け営業体制の強化を図る動きもみられます。

なお、全国は 2.6 ポイント改善の▲8.0 となっており、神奈川県は 7.2 ポイント改善の▲8.2 となっております。

来期の予想業況判断については、32.2 ポイント改善の▲10.7 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	28.5	35.8	35.7	▲7.2
当期実績	17.8	32.2	50.0	▲32.2
来期予想	25.0	50.0	25.0	0.0
前年同期比	21.4	32.2	46.4	▲25.0

販売価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	17.8	64.4	17.8	0.0
当期実績	17.8	64.4	17.8	0.0
来期予想	17.8	71.5	10.7	7.1

在庫

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	17.8	78.7	3.5	14.3
当期実績	28.5	68.0	3.5	25.0
来期予想	17.8	75.1	7.1	10.7

人手

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	63.0	37.0	37.0	▲37.0
当期実績	3.5	68.0	28.5	▲25.0
来期予想	75.0	25.0	25.0	▲25.0

収益

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	25.0	46.5	28.5	▲3.5
当期実績	10.7	39.3	50.0	▲39.3
来期予想	21.4	53.6	25.0	▲3.6
前年同期比	25.0	28.6	46.4	▲21.4

仕入価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	22.2	63.0	14.8	7.4
当期実績	35.7	57.2	7.1	28.6
来期予想	32.1	60.8	7.1	25.0

資金繰り

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	7.1	67.9	25.0	▲17.9
当期実績	7.1	50.1	42.8	▲35.7
来期予想	60.8	39.2	39.2	▲39.2

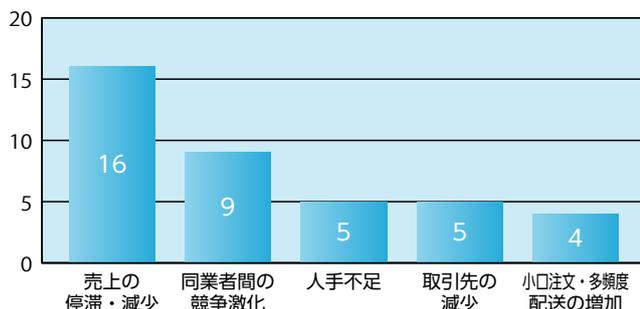
設備状況

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	85.2	14.8	14.8	▲14.8
当期実績	7.1	78.7	14.2	▲7.1
来期予想	3.5	85.8	10.7	▲7.2

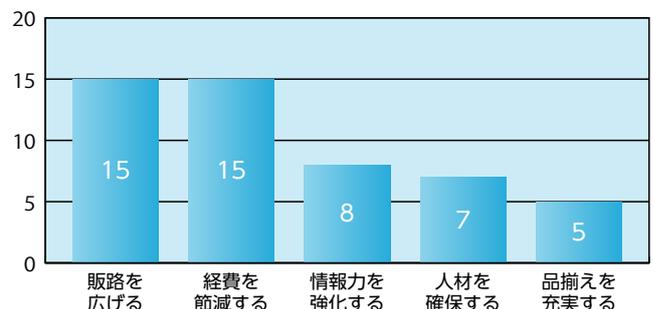
当期実績…30年 7～ 9月期
来期予想…30年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

●概況

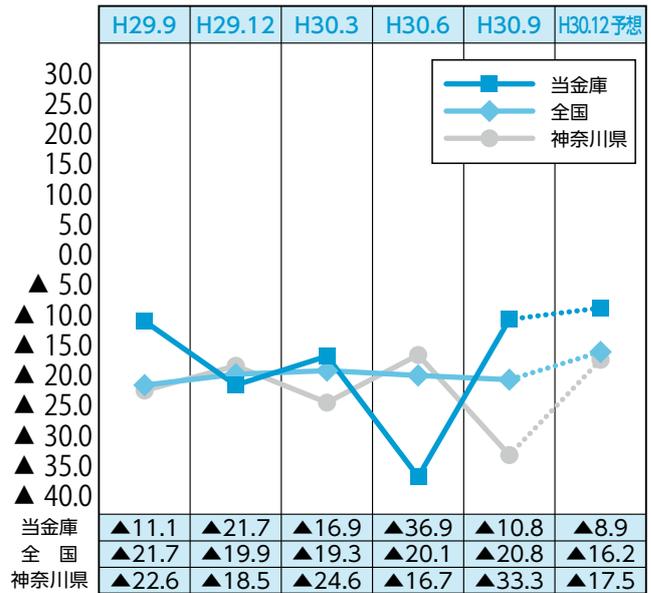
小売・飲食業の業況判断D.I.は前回調査比26.1ポイント改善の▲10.8となりました。項目別では、売上額D.I.は前回調査比1.8ポイント小幅悪化の▲12.5、収益D.I.は7.1ポイント改善の▲5.4となっております。

一部企業においては、猛暑による来店客の減少を指摘する企業が見受けられるものの、食料品小売業を中心とした販売の持ち直しに加え、飲食店では、仕入先の見直しや廃棄ロスの低減などによる自助努力がみられたことから、景況感は改善に至ったものと思われま。また一部企業においては、収益確保に向け、販売価格の見直しや不採算店舗の撤退を計画する動きもみられます。

なお、全国はほぼ横這いの▲20.8となっており、神奈川県は16.6ポイント悪化の▲33.3となっております。

来期の予想業況判断については、1.9ポイント小幅改善の▲8.9となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	23.2	42.9	33.9	36.3	▲10.7
当期実績	26.7	34.1	39.2	29.2	▲12.5
来期予想	33.9	37.6	28.5	34.5	5.4
前年同期比	36.3	29.2	34.5	1.8	

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	16.0	78.7	5.3	10.7
当期実績	17.8	76.9	5.3	12.5
来期予想	14.2	78.7	7.1	7.1

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	10.7	87.6	1.7	9.0
当期実績	16.0	80.5	3.5	12.5
来期予想	12.5	85.8	1.7	10.8

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.5	73.3	23.2	▲19.7
当期実績	1.7	64.4	33.9	▲32.2
来期予想	1.7	57.3	41.0	▲39.3

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	16.0	55.5	28.5	27.2	▲12.5
当期実績	26.7	41.2	32.1	41.9	▲5.4
来期予想	30.3	50.1	19.6	30.9	10.7
前年同期比	27.2	41.9	30.9	▲3.7	

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	33.9	66.1	3.5	33.9
当期実績	35.7	60.8	3.5	32.2
来期予想	28.5	68.0	3.5	25.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	10.7	57.2	32.1	▲21.4
当期実績	7.1	57.2	35.7	▲28.6
来期予想	14.2	59.1	26.7	▲12.5

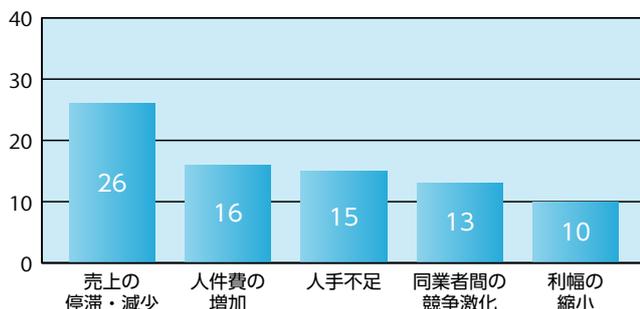
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	1.8	87.3	10.9	▲9.1
当期実績	1.8	87.5	12.5	▲12.5
来期予想	1.8	85.8	14.2	▲14.2

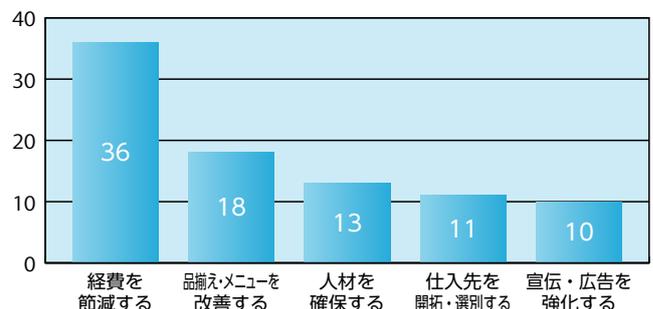
当期実績…30年 7～ 9月期
来期予想…30年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

●概況

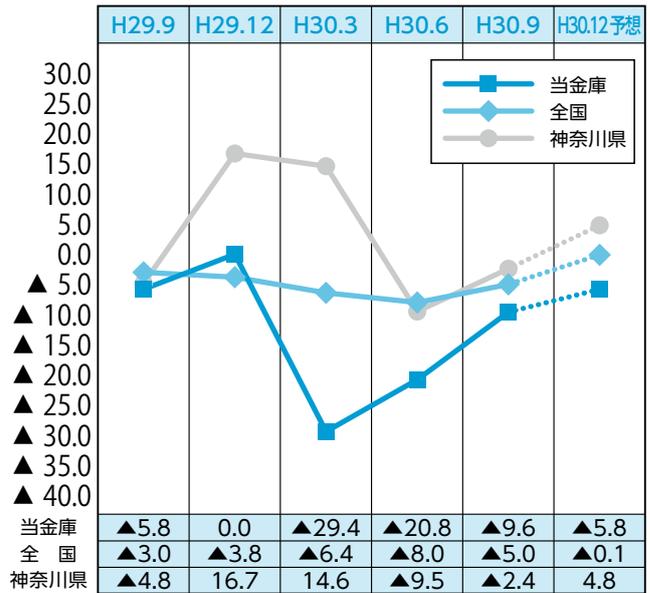
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 11.2 ポイント改善の▲9.6 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 9.4 ポイント悪化の▲3.9、収益 D.I. は 2.1 ポイント悪化の▲5.8 となっております。

医療・介護事業における業況改善に加え、ネット通販の拡大に伴う配送需要の増加や製造業における受注増加を背景とした運送業の業況改善も寄与したことから、資金繰り D.I. は 12.2 ポイント改善の▲19.2 となり、景況感は持ち直しの動きとなっております。また一部企業においては、人材確保に向け、賃金の見直しや非正規雇用の処遇改善などによる労働環境の改善に努める企業も見受けられます。

なお、全国は 3.0 ポイント改善の▲5.0 となっており、神奈川県は 7.1 ポイント改善の▲2.4 となっております。

来期の予想業況判断については、3.8 ポイント改善の▲5.8 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	35.1	35.3	29.6		5.5
当期実績		32.6	30.9	36.5	▲3.9
来期予想		28.8	46.2	25.0	3.8
前年同期比		34.6	28.9	36.5	▲1.9

料金価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	7.5	83.1	9.4	▲1.9	
当期実績		9.6	84.7	5.7	3.9
来期予想		9.6	88.5	1.9	7.7

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	7.4	53.8	38.8	▲31.4	
当期実績		11.5	57.8	30.7	▲19.2
来期予想		13.4	61.6	25.0	▲11.6

設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績		77.8	22.2	▲22.2	
当期実績		3.8	73.2	23.0	▲19.2
来期予想		3.8	73.2	23.0	▲19.2

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	25.9	44.5	29.6		▲3.7
当期実績		28.8	36.6	34.6	▲5.8
来期予想		28.8	50.1	21.1	7.7
前年同期比		30.7	29.0	40.3	▲9.6

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	33.9	64.3	1.8	32.1	
当期実績		33.3	64.8	1.9	31.4
来期予想		39.2	60.8		39.2

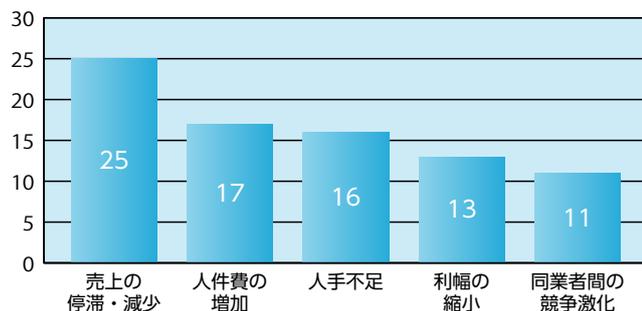
人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	5.5	55.7	38.8	▲33.3	
当期実績		11.7	47.2	41.1	▲29.4
来期予想		5.8	47.2	47.0	▲41.2

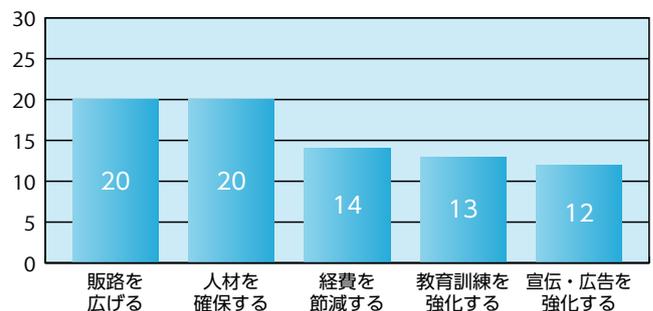
当期実績…30年 7～ 9月期
来期予想…30年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

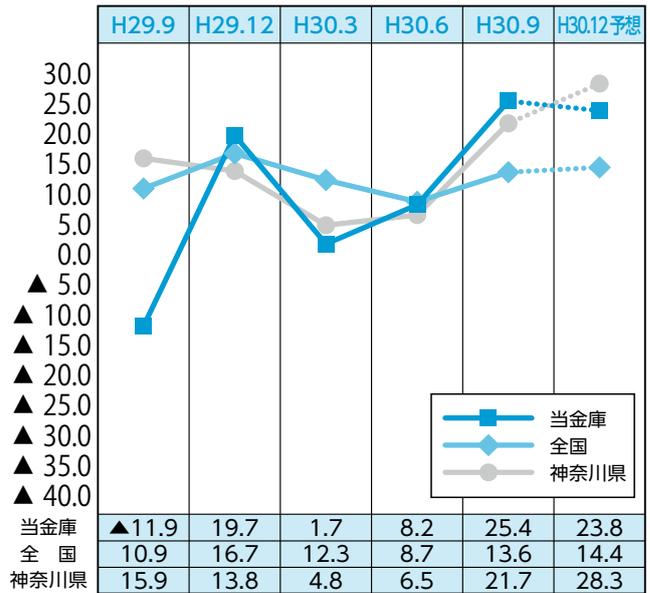
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.2 ポイント改善の 25.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比ほぼ横這いの 9.6、収益 D.I. は 6.4 ポイント改善の 4.7 となっております。

慢性的な人手不足や外注先の確保難から、人手不足 D.I. は▲54.8 と、調査開始以来、不足感が最も強まる中、大型の公共工事に加え、民間の工事受注も堅調に推移していることから、景況感は 2 期連続の改善に至ったものと思われます。また一部では利益率の改善に向け、自社施工の比率を高める企業も見受けられます。

全国は 4.9 ポイント改善の 13.6 となっており、神奈川県は 15.2 ポイント改善の 21.7 となっております。

来期の予想業況判断については、1.6 ポイント小幅悪化の 23.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	31.1	47.6	21.3		9.8
当期実績	34.9	39.8	25.3		9.6
来期予想	36.5	46.1	17.4		19.1
前年同期比	39.6	36.6	23.8		15.8

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	6.5	82.1	11.4	▲4.9
当期実績	6.3	84.2	9.5	▲3.2
来期予想	12.6	84.3	3.1	9.5

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.9	93.5	1.6	3.3
当期実績	1.5	93.8	4.7	▲3.2
来期予想	4.7	90.6	4.7	0.0

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	54.1	45.9		▲45.9
当期実績	1.6	42.0	56.4	▲54.8
来期予想	42.9	57.1		▲57.1

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	24.5	49.3	26.2		▲1.7
当期実績	28.5	47.7	23.8		4.7
来期予想	30.1	50.9	19.0		11.1
前年同期比	26.9	50.9	22.2		4.7

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	31.1	64.0	4.9	26.2
当期実績	31.7	65.2	3.1	28.6
来期予想	34.9	58.8	6.3	28.6

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	15.0	70.0	15.0	0.0
当期実績	12.6	70.0	17.4	▲4.8
来期予想	11.1	71.5	17.4	▲6.3

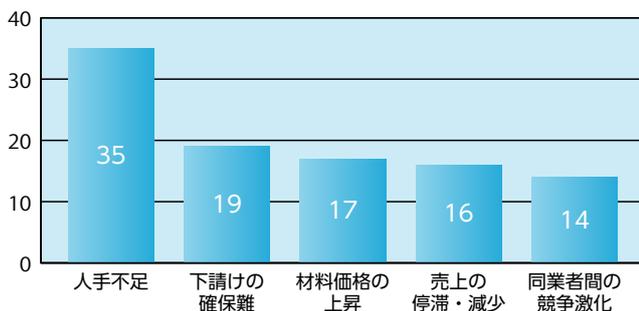
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	1.6	83.7	14.7	▲13.1
当期実績	1.5	90.6	7.9	▲6.4
来期予想		90.5	9.5	▲9.5

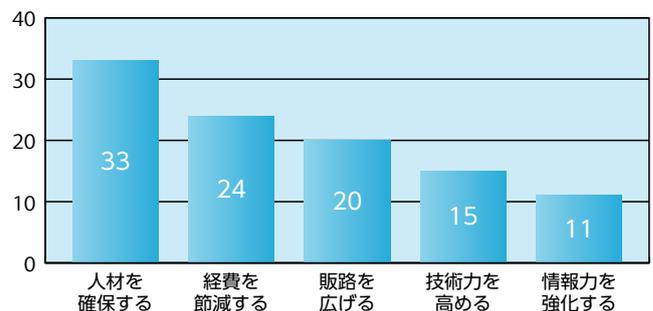
当期実績…30年 7～ 9 月期
来期予想…30年 10～ 12 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

●概況

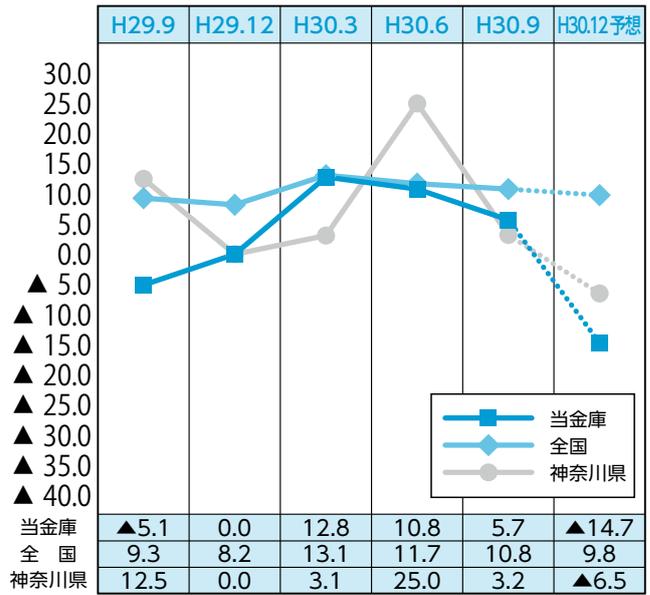
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.1 ポイント悪化の 5.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13.7 ポイント悪化の▲8.3、収益 D.I. は 2.7 ポイント悪化の 0.0 となっております。

県央・湘南エリアに加え、秦野・伊勢原エリアにおいても商品仕入れの動きがみられるものの、経営上の問題点として、同業者や大手企業との競争を挙げる企業が増加し、採算性を踏まえた商品物件の取得に苦慮する企業が見受けられることから、景況感は悪化に至ったものと思われまます。また今後の施策として、約 2 割の企業が提携先を見つけると回答しており、協力会社と共同した仕入規模の拡大により、売上増加を目論む動きもみられます。

なお、全国はほぼ横這いの 10.8 となっており、神奈川県は 21.8 ポイント悪化の 3.2 となっております。

来期の予想業況判断については、20.4 ポイント悪化の▲14.7 となっております。

●業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	18.9	67.6	13.5		5.4
当期実績	19.4	52.9	27.7		▲8.3
来期予想	16.6	58.4	25.0		▲8.4
前年同期比	27.7	44.6	27.7		0.0

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	5.4	73.0	21.6		▲16.2
当期実績	2.7	69.6	27.7		▲25.0
来期予想	2.7	72.3	25.0		▲22.3

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	13.5	48.7	37.8		▲24.3
当期実績	8.3	50.1	41.6		▲33.3
来期予想	5.5	52.9	41.6		▲36.1

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	2.7	78.4	18.9		▲16.2
当期実績	83.4	83.4	16.6		▲16.6
来期予想	83.4	83.4	16.6		▲16.6

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	21.6	59.5	18.9		2.7
当期実績	25.0	50.0	25.0		0.0
来期予想	22.2	58.4	19.4		2.8
前年同期比	25.0	50.0	25.0		0.0

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	18.9	70.3	10.8		8.1
当期実績	19.4	69.5	11.1		8.3
来期予想	19.4	77.9	2.7		16.7

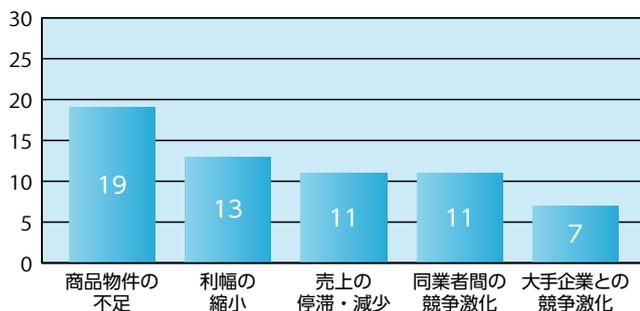
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	18.9	73.0	8.1		10.8
当期実績	11.1	80.6	8.3		2.8
来期予想	13.8	75.1	11.1		2.7

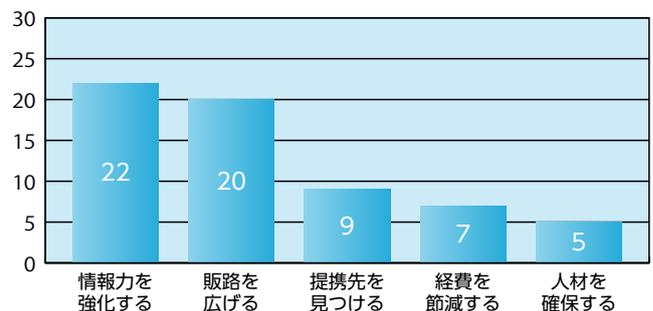
当期実績…30年 7～ 9月期
来期予想…30年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 普通、変わらず 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 348 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を、1つ選んでお答えください。

10年先の自社の経営展望		社長（代表者）の年齢階層	
<input type="radio"/> 事業拡大	113社	<input type="radio"/> 20歳代、30歳代	18社
<input type="radio"/> 現状維持・横ばい	123社	<input type="radio"/> 40歳代	78社
<input type="radio"/> 事業縮小	22社	<input type="radio"/> 50歳代	86社
<input type="radio"/> 廃業・事業譲渡予定	10社	<input type="radio"/> 60歳代	76社
<input type="radio"/> わからない	51社	<input type="radio"/> 70歳代以上	66社

問2. 「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、経営者が現役で活躍する年齢は高まっていくものと考えられます。そのような中、社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。1つ選んでお答えください。

具体的な年齢の目途がある		具体的な年齢の目途はない	
<input type="radio"/> 60歳未満	14社	<input type="radio"/> 健康が続く限り生涯現役	62社
<input type="radio"/> 60～64歳	25社	<input type="radio"/> 後継者に托せるようになるまでは現役	67社
<input type="radio"/> 65～69歳	42社	<input type="radio"/> 生活資金の見通しがつくまで現役	17社
<input type="radio"/> 70～74歳	43社	<input type="radio"/> まったく考えていない	30社
<input type="radio"/> 75～79歳	17社		
<input type="radio"/> 80歳以上	7社		

問3. 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。1つ選んでお答えください。

十分だと思う		まだ不十分だと思う	
<input type="radio"/> 貯蓄・資産がすでに十分にある	34社	<input type="radio"/> 貯蓄・資産が十分ではない	90社
<input type="radio"/> 会社からの退職金が見込める	13社	<input type="radio"/> 会社からの退職金が見込めない	12社
<input type="radio"/> 年金・保険が見込める	33社	<input type="radio"/> 年金・保険が見込めない	7社
<input type="radio"/> 何とかなる	51社	<input type="radio"/> 何となく不安である	29社
<input type="radio"/> まだ考えていない	46社	<input type="radio"/> 引退しない	7社

問4. 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。3つ以内で選んでお答えください。

<input type="radio"/> 預貯金（円貨）	172社	<input type="radio"/> 株式	46社
<input type="radio"/> 個人年金保険	81社	<input type="radio"/> 投資信託	32社
<input type="radio"/> 何もしていない	78社	<input type="radio"/> 外貨預金	8社
<input type="radio"/> 不動産	75社	<input type="radio"/> 債券（国債・社債等）	4社
<input type="radio"/> 共済等その他保険商品	48社	<input type="radio"/> 仮想通貨	2社

問5. 「人生100年時代」を見据えて、社長（代表者）は、現役を退いた後の生活イメージについて、描いているものはありますか。3つ以内で選んでお答えください。

<input type="radio"/> 趣味や娯楽	137社	<input type="radio"/> 生涯現役の経営者でいたい（引退しない）	31社
<input type="radio"/> 家族との時間を過ごす	97社	<input type="radio"/> 技能・ノウハウの次世代への伝承	30社
<input type="radio"/> そのときに考える（今は考えていない）	93社	<input type="radio"/> 自己啓発・学び直し	30社
<input type="radio"/> ボランティア・社会貢献活動	62社	<input type="radio"/> 何もせずゆっくり過ごす	28社
<input type="radio"/> 現役を退いても会社に関わりたい	51社	<input type="radio"/> 新たに起業する	16社

なかしん景気動向調査 業況判断 D.I. 推移について

当金庫では、皆さまのご協力のもと、2011年9月より景気動向調査を開始し、丸7年となりました。下記のグラフのとおり、消費増税や海外情勢の不透明感などの影響により、景況感が「悪い」に傾いている時期もありますが、2017年12月には、業況判断D.I.が7.0と、過去最高値を示し、景況感は緩やかな回復基調にあることが見てとれます。

今後につきましても、地域の景気動向の実態把握を目的として調査を行うとともに、皆さまのお役に立てるような情報提供に努めてまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

業況判断D.I.値推移（全業種）

